

Graduation Policy (GP)	
記入者氏名	
記入年月日	2006年4月1日
学部・研究科名	教育学部
学科・専攻等名	健康科学教育課程
コース等名	スポーツ健康科学コース
細分名	
教育学部の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>学校教育および社会のさまざまな分野において教育の素養をもって貢献できる人材の養成を目的とする。</p>	
教育学部の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1．人間と教育に関わる事象を、問題意識をもって思考、調査、分析することができる。 2．自らの思考、調査、分析の結果を適切な方法で表現することができる。 3．自らの専門において習得した知識や能力を、実践に活用することができる。 	
健康科学教育課程の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>人と健康の関わりについて、運動面、生活面から科学的視点に立って理論的、実践的に学習し、心身ともに健康であることの意義を理解し、それを維持することの課題、諸問題を把握、解決できる人材を育成する。</p>	
健康科学教育課程の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<p>高齢社会を迎えた我が国で、生涯にわたって健康を維持し、活力ある人生を送るための課題について、運動科学および生活科学の視点から多面的、総合的に考え、実践することができ、さらに健康づくりに指導的な役割を果たすことができる。</p>	
スポーツ健康科学コースの教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>運動と健康のかかわりについて理論的・実践的に学習し、心身ともに健康であることの意義を理解し、それを維持することの課題・諸問題を把握し、解決できる人材を育成する。</p>	
スポーツ健康科学コースの Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	

1. 修学計画能力：スポーツ健康科学コースにおいて何を学ぶか、身体運動と健康の関連についての概念を得る。また、スポーツ健康科学コース教育プログラムの学習・教育目標を掌握し、自ら修学プランを立案できる。
2. 専門基礎能力：専門基礎科目としてとりあげる人の生涯にわたる身体の構造や機能の変化ならびにそれらに対する運動の影響についての知識を習得している。
3. 専門応用能力：これまで学んできた専門基礎科目の知識を統合・発展させ、体力トレーニング処方や健康づくりのための運動処方を実践するための理論と指導法が修得している。
4. 課題解決総合能力：課題研究を通して論理的な考察能力を養い、自分のアイデアや成果を文章にまとめることができる。
5. 進路計画能力：運動と健康あるいは広く健康に関する業界の動向や人間像、就職環境などを掌握して、将来の進路を展望し、自らの進むべき方向が決定できる。